

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I
共通事項（全学生共通）

1
授
業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授 業

1

履 修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学 籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

編

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2022年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ
経済学部教育理念 ―コースについて―

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1]学 期	1
[2]授業時間	1
[3]授業の出席	1
[4]授業の欠席	2
[5]休 講	3
[6]補 講	3
2 授業科目	3
[1]開 講 期	3
[2]配当年次	3
[3]授業科目の種類	3
3 単 位 制	4
[1]単位制とは	4
[2]単位を修得するための学修時間	4
[3]各授業科目の単位数	4
[4]単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1]履修登録とは	5
[2]履修単位数の上限	6
[3]クラス指定	6
[4]再 履 修	7
[5]履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試 験	11
[1]試験の種類	11
[2]定期試験の欠席	12
[3]試験日程・受験手続	12
[4]試験時間	13
[5]受験資格・受験上の注意 (学年暦に定められた期間に行われる試験)	13
2 成 績	14
[1]成績評価・成績表記	14
[2]GPA(成績平均点数制)	15
[3]成績発表	16
[4]成績調査	16

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	17
2 各制度の内容及び申請方法等	18
[1]既修得単位	18
[2]知識及び技能に係る審査の成果	20
[3]派遣留学生(短期海外研修)	24
[4]派遣学生(国内)	25
[5]インターンシップ	26
[6]ボランティア活動	26

5 学籍

1 修業年限と在学期間	27
2 学籍の異動	28
[1]休 学	28
[2]復 学	29
[3]退 学	29
[4]除 籍	29
[5]復 籍	29
[6]転 学 部	29

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションモモンズ(MLACC)	30
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	30
3 科目等履修生	31
4 研 究 生	31

7 教務事務

1 証 明 書	32
2 事務取扱時間	33
3 問い合わせ	33
4 学生への連絡	34
[1]Webポータルシステムによる掲示配信	34
[2]掲示板の場所と掲示内容	34
5 シラバス	35
6 manaba	36
7 メールアカウントの付与	36
8 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	36

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	37
2 専門科目	39
[1]コース登録	45
[2]コース変更	45
3 卒業論文	45
4 カリキュラムマップ(履修系統図)	46
5 クラス担任制	48

9 進級・卒業

1 進級	49
[1]進級要件	49
[2]進級発表	50

2 卒業	51
[1]卒業要件	51
[2]卒業単位充足者・卒業予定者発表	53
[3]学位	53
3 年次(学期)別基準単位数	54

10 教育課程表

教育課程表	61
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	68
産学連携教育プログラムの履修	73

II 編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	75
2 2年間の学修計画	75
3 既修得単位の認定	75
[1]包括・弾力認定	75
[2]個別認定(α)	75
4 コース選択(2022年度編入学生)	77
5 卒業要件	77

6 その他	77
[1]クラス指定	77
[2]修得(認定)済科目の履修	77
7 教育課程表(編入学生用)	79

2022年度 浦安キャンパス学年暦

■前学期 4/1 (金) ~ 9/14 (水)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

2022/ 4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
3/27	28	29	30	31	1	2	4/1(金) 3/25(金) 3/28(月) 3/29(火)	学年始め オリエンテーション(3年) オリエンテーション(4年) オリエンテーション(2年)
		← 履修登録期間 →						
3	4	5	6	7	8	9	3/29(火)~4/1(金) 3/30(水)~4/1(金) 3/30(水)~4/5(火) 3/31(木)	履修登録期間・履修相談期間 オリエンテーション(新入生・編入学生) 単位認定申請期間 産学連携教育プログラム履修ガイダンス 入学式
10	11	12	13	14	15	16	4/4(月) 4/5(火)	前学期授業開始
		← 履修登録修正期間 →						
17	18	19	20	21	22	23	4/11(月) 4/12(火) 4/13(水) 4/14(木) 4/15(金)	学生定期健康診断(1年) 学生定期健康診断(2年) 学生定期健康診断(3年) 学生定期健康診断(4年) 学生定期健康診断(予備日)
→							4/12(火) 4/12(火)~17(日)	単位認定発表 履修登録修正期間
24	25	26	27	28	29	30	4/29(金) 4/30(土)	休日授業実施日(昭和の日) 前学期授業料等納入期限
					昭和の日			

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	5/6(金)・7(土) 5/17(火)	振替休日(休業) 創立記念日(休日授業実施日)
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休業日	休業日		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
		創立記念日						
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	6/1(水)~30(木)	クリーンキャンペーン月間
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	7/8(金) 7/18(月) 7/23(土) 7/25(月)~30(土)	前学期定期試験時間割発表 休日授業実施日(海の日) 前学期授業終了 前学期定期試験期間
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18 海の日	19	20	21	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6 休業日	8/1(月) 8/1(月)~9/14(水) 8/6(土)	前学期定期試験欠席届提出期限 夏季休暇 振替休日(休業)
7	8	9	10	11 山の日	12	13	8/19(金) 8/19(金)・22(月) 8/19(金)・22(月)	9月卒業単位充足者発表 前学期追(再)試験時間割、該当者発表 前学期追(再)試験受験手続期間
14	15	16	17	18	19	20 休業日	8/20(土) 8/23(火)~25(木)	振替休日(休業) 前学期追(再)試験期間
21	22	23	24	25	26	27 休業日	8/26(金) 8/27(土)	単位認定申請期限(前学期成績反映分) 振替休日(休業)
28	29	30	31					

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	8/1(月)~9/14(水) 9/3(土) 9/5(月) 9/5(月)	夏季休暇 振替休日(休業) 9月進級発表 9月卒業予定者発表
4	5	6	7	8	9	10 休業日	9/5(月) 9/5(月)・6(火) 9/5(月)~8(木)	前学期成績発表 前学期成績調査願提出期間 4年(8学期) 前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期)
11	12	13	14				9/7(水)~12(月) 9/10(土) 9/14(水)	履修登録修正期間(授業開始前) 振替休日(休業) 9月学位記授与式

■後学期 9/15 (木) ~ 3/31 (金)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			7	8	9	10	8/1(月)~9/14(水)	夏季休暇
			履修登録修正期間				9/7(水)~12(月)	履修登録修正期間(授業開始前)
						17	9/8(木)	オリエンテーション(9月進級者・復学者)
11	12	13	14	15	16		9/10(土)	振替休日(休業)
履修登録修正期間							9/14(水)	9月入学式
18	19	20	21	22	23	24	9/15(木)	後学期授業開始
	敬老の日		履修登録修正期間				9/19(月)	休日授業実施日(敬老の日)
					秋分の日		9/21(水)~23(金)	履修登録修正期間(授業開始後)
25	26	27	28	29	30		9/23(金)	休日授業実施日(秋分の日)

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	10/10(月)	休日授業実施日(スポーツの日)
							10/31(月)	後学期授業料等納入期限
2	3	4	5	6	7	8		
9	10	11	12	13	14	15		
	スポーツの日							
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
30	31							

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1	2	3	4	5	11/1(火)~30(水)	クリーンキャンペーン月間
				文化の日			11/11(金)~14(月)	明海祭(休講)※準備、片付けを含む。
6	7	8	9	10	11	12	11/23(水)	休日授業実施日(勤労感謝の日)
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26		
			勤労感謝の日					
27	28	29	30					

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	12/16(金)	後学期定期試験時間割発表
							12/26(月)~	冬季休暇
							2023年1/7(土)	
4	5	6	7	8	9	10	12/28(水)	振替休日(休業)
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30	31		
			休業日					

2023/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7	12/26(月)～ 2023年1/7(土)	冬季休暇
8	9 成人の日	10	11	12	13	14	1/10(火)～12(木)	後学期補講期間
15	16	17	18	19	20	21	1/10(火)～12(木) 1/13(金)	休講日 大学入学共通テスト準備日(休講)
22	23	24	25	26	27	28	1/14(土)・15(日) 1/16(月)	大学入学共通テスト(休業) 後学期授業再開
29	30	31					1/23(月)	後学期授業終了
							1/24(火)～30(月)	後学期定期試験期間
							1/31(火)	単位認定申請期限 4年(8学期)
							1/31(火)	後学期定期試験欠席届提出期限
							1/31(火)	春季休暇開始

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	2/4(土)	振替休日(休業)
							2/13(月)	卒業単位充足者発表
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日	2/13(月)・14(火)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表
12	13	14	15	16	17	18 休業日	2/13(月)・14(火) 2/15(水)～17(金)	後学期追(再)試験受験手続期間 後学期追(再)試験期間
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 休業日	2/18(土) 2/24(金)	振替休日(休業) 単位認定申請期限
26	27	28					2/25(土)	1年(1学期)～4年(7学期) 振替休日(休業)

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	3/1(水)	卒業予定者発表
							3/1(水)	成績発表 4年(8学期)
5	6	7	8	9	10	11	3/1(水)・2(木)	成績調査願提出期間 4年(8学期)
12	13	14	15	16	17	18	3/4(土)	振替休日(休業)
19	20	21	22	23	24	25	3/15(水)	学位記授与式
							3/15(水)	進級発表
							3/15(水)	成績発表
19	20	21	22	23	24	25	3/16(木)～22(水)	1年(1学期)～4年(7学期) 成績調査願提出期間
26	27	28	29	30	31		3/16(木)～22(水)	1年(1学期)～4年(7学期)
							3/31(金)	学年終了

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

※ディプロマ・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

※カリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

※アドミッション・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の3要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の3要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー

— 経済学科 —

2021年度以降入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

経済学科では、次の要件を満たした者に学士（経済学）の学位を授与する。

- 1 経済学の基礎知識と応用能力を身につけたことが客観的に認められ、その成果を生かして国際経済や地域経済の諸課題解決に資することができる。
- 2 経営に必要な組織、管理、戦略、財務、マーケティング等のより専門的なマネジメント技術を修得し、活用することができる。
- 3 「簿記」や「会計」に関する知識や実務・計算能力が身についたと客観的にも評価され、将来、それを生かして活躍することができる。
- 4 データ処理やデータ分析などの統計学や情報処理に関する専門知識を身につけ高度情報化社会を生き抜く実践的なスキルを修得し、活用することができる。
- 5 日々変化する社会の中で、自らの将来の課題を探求し、課題を解決する力を修得し、社会の発展に資することができる。
- 6 強い意欲と積極性を持って「人のために」貢献しうる課題探求・解決の能力を身につけ、国際未来社会や地域社会において活躍することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

経済学科は、社会常識と経済学の基礎となる地域社会から国際社会に及ぶ幅広い教養と、公共政策・金融・経営・会計など各分野の高度な能力を兼ね備え、現代グローバル経済社会を力強く生き抜くビジネスパーソンの育成を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1年次には、共通のシラバス及び教科書による少人数クラス制の必修科目において、経済、経営・会計に関する関心を深め、経済学ならびに経営・会計学の基本的な考え方の修得を図る。
- 2 現代ビジネス社会において必要不可欠な実践的知識と能力を育成するため、履修モデルに基づき、コア科目（必修科目）、基礎科目、発展科目を計画的・体系的に学ぶことにより、高度な専門能力の養成を図る。
- 3 4年間の一貫必修ゼミにより、基礎学力を強化するとともに、個別の進路目標に対応した専門的知識の修得を確実なものとする。
- 4 将来の進路を見据えて経済学、経営学、会計学の3つの学問分野を軸に7つの履修モデルを選択して体系的に学修する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

経済学科では、経済学及び経営学を学ぶことに対して主体的に取り組める強い意欲を持つ次のような人材を求めている。

- 1 幅広い教養と経済・経営・会計・税法などの専門知識を体系的に学び、身につけたいという意欲を持つ人
- 2 将来、ビジネスパーソンとして活躍するために必要とされる経済学の基本知識と応用能力、外国語運用能力を身につけ、その学修成果が社会的・客観的に評価されることを希望する人
- 3 「簿記」「会計」に関する知識や技能を身につけ、その学修成果が社会的・客観的に評価されることを希望する人
- 4 公民科の科目に興味・関心がある人、あるいは高等学校等で簿記の基礎を学んだことのある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（全国商業高等学校長協会）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

- 5 国際経済の動向に常に関心を持ち、積極的に国際社会における体験を積み重ね、将来、グローバルな人材として、国際未来社会に貢献する気概を持つ人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【外国人留学生特別入試】

- 6 身近な地域や国際社会の諸問題について、その解決のための知識を身につけ、ボランティア等として地域貢献活動に参加する強い意志を持つ人（できれば、これまでにボランティアを実際に体験あるいはボランティア活動に志願した経験があることが望ましい）

対応する入試【総合型選抜（AO）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（全国商業高等学校長協会）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

三つのポリシー

— 経済学科 —

2020年度以前入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

経済学科では、次の要件を満たした者に学士（経済学）の学位を授与する。

- 1 経済学の基礎知識と応用能力を身につけたことが客観的に認められ、その成果を生かして国際経済や地域経済の諸課題解決に資することができる。
- 2 「簿記」や「会計」に関する知識や実務・計算能力が身についたと客観的にも評価され、将来、それを生かして活躍すると判断できる。
- 3 経営に必要な組織、管理、戦略、財務、マーケティング等のより専門的なマネジメント技術を修得したと判断できる。
- 4 日々変化する社会の中で、自らの将来の課題を探求し、解決する力を修得したと判断できる。
- 5 国際未来社会や地域社会において、強い意欲と積極性を持って「人のために」貢献しうる課題探求・解決の能力を身につけたと判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

経済学科は、社会常識と経済学の基礎となる地域社会から国際社会に及ぶ幅広い教養と、公共政策・金融・経営・会計など各分野の高度な能力を兼ね備え、現代グローバル経済社会を力強く生き抜くビジネスパーソンの育成を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

- 1 1年次には、共通のシラバス及び教科書による少人数クラス制の必修科目において、経済、経営・会計に関する関心を深め、経済学ならびに経営・会計学の基本的な考え方の修得を図る。
- 2 併せて現代ビジネス社会において必要不可欠な実践的知識と能力を育成するため、1年次より目標進路別にコース制を編成し、各分野のコア科目（必修科目）、コース基礎科目、コース発展科目を段階的に学ぶことにより、高度な専門能力の養成を図る。
- 3 4年間の一貫必修ゼミにより、基礎学力を強化するとともに、個別の進路目標に対応した専門的知識の修得を確実なものとする。
- 4 各コースの概要
 - (1) グローバル経済コースでは、グローバル時代に見合った豊かな国際的感覚を養い、国際社会で活躍するための知識とスキルを身につける。同時に、グローバル時代だからこそ脚光を浴びる身近な地域の諸問題に関心を持ち、その原因を掘り下げて分析できる探究能力と知識、問題解決のための政策立案能力とそのスキルを身につける。
 - (2) グローバル経営コースでは、経済活動の中心を担う「会社」を対象として、グローバルな企業間競争の時代を生き抜くための経営ならびに会計にかかわる理論と実践についての知識とスキルを身につける。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

経済学科では、経済学及び経営学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人材を求めている。

- 1 幅広い教養と経済・経営・会計・税法などの専門知識を学び、身につけたいという意欲を持つ人
- 2 将来、ビジネスパーソンとして活躍するために必要とされる経済学の基本知識と応用能力を身につけ、その学修成果が社会的・客観的に評価されることを希望する人
- 3 「簿記」「会計」に関する知識や実務能力を身につけ、その学修成果が社会的・客観的に評価されることを希望する人
- 4 公民科の科目や簿記に興味がある人、あるいは高等学校等で簿記の基礎を学んだことのある人

対応する入試【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】【スポーツ・文化活動特別入試】

- 5 国際経済の動向に常に関心を持ち、積極的に国際社会における体験を積み重ね、将来、グローバルな人材として、国際未来社会に貢献する気概を持つ人

対応する入試【外国人留学生特別入試】

- 6 身近な地域の諸問題について、その解決のための知識を身につけ、ボランティア等として地域貢献活動に参加する強い意志を持つ人（できれば、これまでにボランティアを実際に体験あるいはボランティア活動に志願した経験があることが望ましい）

対応する入試【AO入試】【推薦入試】

経済学部で学ぶ皆さんへ

経済学部長 下田直樹

経済学部へようこそ。新入生の皆さんは晴れて大学生となった喜びにさぞや胸を躍らせていることでしょう。本当におめでとうございます。また、在学生の皆さんは気持ちも新たに、再び始まるこれからの1年にさまざまな思いを交錯させているものと思います。特に2020年度に引き続き、2021年度もコロナ禍で、授業も学生生活もこれまでとは違う形を余儀なくされたことから、思いも一入（ひとしお）と思います。

さて、この冊子は、大学生活のなかでもっとも重要な授業の履修登録や単位の修得などに関する手続きや諸注意をまとめたものです。わからないことや困ったことがあったら、まずこの冊子を開いてみてください。

さて、経済学部では2021年度以降、これまでの「グローバル経済」と「グローバル経営」の2コース制を改め、履修モデル制に基づく新たな教育課程を始動させました。これも、本学の建学の精神に基づく人材育成のさらなる推進と学びの道筋を明確化することを目的としたものです。

履修モデル制とは、将来の進路を見据えながら、経済・経営・会計の3分野でそれぞれの授業科目をどのように履修していくことが望ましいかを示した、履修の羅針盤ともいうべきものです。その概要は本「履修の手引」にも掲載されていますので、よく読んでください。

また、この履修モデル制の導入とあわせ、これまで以上に少人数制教育を徹底するため、初年次ゼミ（フレッシュパーソンゼミ）を起点とする4年間の一貫ゼミ制を強化します。具体的には、ゼミ連活動等を通して個別のゼミ活動とともにゼミ同士の切磋琢磨の場を多く設けることにしました。

加えて、地域に根ざす大学として、特色ある「地域研究」を2015年度からカリキュラムに組み入れましたが、今後は地域の諸機関・諸団体とも連携して、座学にとどまらない多彩な調査・研究活動も展開しようと考えています。

なお、2年次までの学修の成果を客観的に測ると同時に、原則的に2021年度生以降は全員、経済学検定試験（マイクロ・マクロ）においてBランクに到達することを進級要件とします。もちろん、これまでと同様、日商簿記検定2級合格を目標とする学生にも挑戦の機会を用意します。

このカリキュラムのもとで皆さんが、体系的・計画的に経済学から経営・会計学、法学等をトータルに学び、建学の精神にいう「社会性、創造性、合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材」となることを願っています。なお、この新カリキュラムは2021年度4月入学生から適用となります。したがって、2020年度以前入学の学生は、これまでどおり、2コース制のカリキュラムのもとで学び続けてください。

最後に、いうまでもありませんが、大学の授業はただ漫然と先生の話聞くだけでなく、自ら調べ、自らの頭で考えることが大切です。そのために本の宝庫であるメディアセンター（図書館）も大いに利用しましょう。また、教科書だけでなく、経済に関する本もたくさん読んでください。もちろん、大学生活は学業だけでなく、クラブ・サークルといった課外活動やボランティア、インターンシップ、海外研修、学園祭など、わくわくすることがたくさんあります。4年間はあっという間に過ぎてしまいますが、学生時代は何物にも代えがたい貴重な経験を数多くできる機会です。皆さんが充実した学生生活を送り、立派な社会人となられることを願ってやみません。

経済学部の教育理念

— コースについて —

2021年度以降入学生

経済学部の履修モデル制は、「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材を育成する」という建学の理念の具現化をめざし、「社会の変化に対応し、学生自身が自らの将来の課題を探究し、柔軟かつ総合的な判断ができる能力を身につける」ための履修制度です。21世紀を担う幅広い職業人の養成という視点から、学生の実学指向にこたえる「21世紀型の学びのスタイル」を実現するという観点に立って、教養と専門及び理論と実践にバランスのとれた「専門知識」と「ビジネスのスキル」を学ぶ履修システムを構築しています。幅広い視野をもって国際社会で活躍できる有為な人材の育成を目指し、現代社会から求められる論理的思考力、課題探究能力の基本を身につけることができるように編成されています。

本学部では、入学後それぞれの関心や意欲に応じて「21世紀型の学びのスタイル」を実現し、学生自らが個性・能力を最大限に開花させることができるように、教育内容と教育方法の両面で、学部全体が学びの仕組みと環境の整備に取り組んでいます。

これまで、専門教育の課程にグローバル経済、グローバル経営という2つのコースを設けてきましたが、学問分野を越えて幅広く学びたいという学生のニーズに応えるとともに、将来の進路を見据えてより体系的に学修できるよう、2021年度からは履修モデル制を採用いたします。経済学部のカリキュラム（教育課程）には次のような特徴があります。

- 経済学、経営学、会計学の3つの学問分野を軸とする将来を見据えた履修モデル制（履修モデルについては別途説明予定）
- 指導教員制度（4年間一貫した必修ゼミを通じて学生をきめ細かくサポート）の導入
- 1年次からの資格取得支援教育の推進
- 専門教育におけるコア科目での学習到達度別クラスの編成と少人数教育の充実
- 専門教育を活かした体験型キャリアプログラム（インターンシップ・ボランティアなど）の推進
- 国際化に対応する海外研修（シーキューユニバーシティでの語学研修等）の機会の提供
- 現代の経済・社会に生じている各種問題（国際金融、開発・環境、人口、生活・社会保障、公共政策、金融・証券市場などの問題）に応じた経済・経営関連の実践科目の充実
- 各種資格取得試験対策の教育の実践〔経済学検定、簿記検定、MOS（Word/Excel/Power Point）検定、J検、秘書検定など〕
- 専門知識の修得に向けた目的意識の醸成と学修成果の獲得の観点から2年次から3年次の進級に当たって進級基準を設定

2015～2020年度入学生

明海大学では、コース制をとってきました。これは、「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材を育成する」という建学の理念の具現化をめざし、「社会の変化に対応し、学生自身が自らの将来の課題を探究し、柔軟かつ総合的な判断ができる能力を身につける」ための履修制度です。21世紀を担う幅広い職業人の養成という視点から、学生の実学指向にこたえる「21世紀型の学びのスタイル」を実現するという点に特色があります。

経済学部では、この理念・目的をふまえ、教養と専門及び理論と実践にバランスのとれた「専門知識」と「ビジネスのスキル」を学ぶ履修システムを構築しました。幅広い視野をもって国際社会で活躍できる有為な人材の育成を目指し、現代社会から求められる論理的思考力、課題探究能力の基本を身につけることができるように編成されています。

本学部では、入学後それぞれの関心や意欲に応じて「21世紀型の学びのスタイル」を実現し、学生自らが個性・能力を最大限に開花させることができるように、教育内容と教育方法の両面で、学部全体が学びの仕組みと環境の整備に取り組んでいます。

具体的には、専門教育の課程にグローバル経済、グローバル経営という2つのコースを設けて、学生は各コースのなかで共通の必修科目、コース基礎・発展科目を体系的に学んでいくことができます。さらに、経済学部のカリキュラム（教育課程）には次のような特徴があります。

- 2つのコース（グローバル経済コースとグローバル経営コースとの間）における体系的な学修及びコース相互履修の拡充
- 指導教員制度（4年間一貫した必修ゼミを通じて学生をきめ細かくサポート）の導入
- 1年次からの資格取得支援教育の推進
- 専門教育におけるコア科目での学習到達度別クラスの編成と少人数教育の充実
- 専門教育を活かしたキャリアプログラム（インターンシップ・ボランティアなど）の推進
- 国際化に対応する海外研修（シーキューユニバーシティでの語学研修等）の機会の提供
- 現代の経済・社会に生じている各種問題（国際金融、開発・環境、人口、生活・社会保障、公共政策、金融・証券市場などの問題）に応じた経済・経営関連の実践科目の充実
- 各種資格取得試験対策の教育の実践〔経済学検定、簿記検定、MOS（Word/Excel/Power Point）検定、J検、秘書検定など〕
- 専門知識の修得に向けた目的意識の醸成と学修成果の獲得の観点から2年次から3年次の進級に当たって各コースの進級基準を設定